

8807 ある土曜日の朝早く、娘の明日香から・・・

ある土曜日の朝早く、娘の明日香から電話があった。

「お父さん、今日夕方、ボブとそちらに遊びに行ってもいいかしら」

ボブというのは、明日香の夫であった。

「いいよ。宿をどこかに取っておこうか」

「いいえ、いいの。最終の汽車で青木湖まで行って、そこでボブの友人たちと落ち合いますから。明日一日滑って明後日帰ることにしているから」

「じゃ、よかったら夕食までに来なさい。夕食と一緒にたべよう」

曾野 綾子：湖水誕生

[許容訳例]

One Saturday, early in the morning, I had a call from Asuka, my daughter.

"Hi, Dad. Can I come to see you with Bob this evening?"

Bob was her husband.

"Sure. Shall I reserve a room somewhere?"

"No, it's all right. We're going to Lake Aoki by the last train and meeting Bob's friends there. We're going to ski all day tomorrow and go back the day after."

"Well then, why not be here by dinner-time? We can have dinner together."

[翻訳例]

Early one Saturday morning, a call came from my daughter Asuka.

"Hello, Dad. Is it OK for Bob and me to drop in to see you this evening?"

"Bob" was Asuka's husband.

"Fine! Shall I book you a room somewhere?"

"No, it's OK. We're going to Lake Aoki on the last train and meeting up with some friends of Bob's there. We're going to ski all day tomorrow and come back the day after."

"Well then, why don't you get here by dinner-time? We can have dinner together."

■ある土曜日の朝早く、娘の明日香から電話があった。(8807)

★「ある土曜日の朝早く」は一番簡単なのは Early one Saturday morning です。この表現は、たとえば、late one Thursday afternoon とか early one Friday evening とか、覚えておくと便利な言い方です。ただ、「ある土曜日の朝早く」は微妙です。たとえば、「ある土曜日、朝早く」なら「朝早く」に追加的強調が感じられるので One Saturday, early in the morning でいいですが、「ある土曜日の朝早く」は「朝早く」を強調しているかどうかは判別不可能です。

★「娘の明日香」は my daughter Asuka です。Aska, my daughter でも間違いではありませんが、my daughter が説明的に感じられるので避けた方がいいでしょう。

★ 「～から電話があった」はいろいろな言い方が可能です。A call came from ~の他に There was a call from ~とか、主語を I にして I had a call from ~も可能です。ただ、call に telephone を付ける必要はありません。また I had の代わりに I received を使うと非常に formal な感じになります。ここでは無理です。

■ 「お父さん、今日夕方、ボブとそちらに遊びに行ってもいいかしら」(8807)

★ 「お父さん」は Dad ですが、電話ですから、イギリスなら Hello, Dad でしょう。アメリカなら Hi, Dad でしょう。

★ 「今日夕方」は this evening です。

★ 「ボブと（私が）そちらに遊びに行く」は come to see you with Bob とか、come to see you の代りに visit you とか drop [call] in to see you などが考えられます。なお、come and see… も使えますが、この場合、イギリス英語では「何か相談したいことがある」というニュアンスが入ります。

★ 「行ってもいいかしら」は、can あるいは may を使って Can [May] I …? とすることがで
きるし、また、Is it all right [OK] for Bob and me to drop [call] in to see…? とすることも出
来ます。ちょっと丁寧にというか、遠慮がちに言うのなら Would it be…? です。なお、I wonder if Bob and I could… も可能ですが、これも幾分改まった感じで、それこそ何か相談事でもある
ような感じになります。

■ ボブというのは、明日香の夫であった。(8807)

★ 「ボブというのは、明日香の夫であった」は Bob was Asuka's husband. でよいのですが、
ここで過去時制を使うと、なんとなくボブとは現在別れているか、あるいはボブは亡くなっ
ているという感じがします。「現在も・・・である」という場合は現在時制にするのが普通
です。

★ 「(ボブ) というのは」を表現したいなら "Bob" とダブルクオーツで囲えばいいです。

■ 「いいよ。宿をどこかに取っておこうか」(8807)

★ 「いいよ」は Can [May] I …? に対しての返答であれば Yes, you can [may]. としたくなり
ますが、これでは何だか許可を与えているような冷たい感じなので、普通、こういう場合に
は使わないと思います。Fine! とか Of course. とか Sure! などを使うといいでしよう。なお、
Why not? も使えますが、これは、たとえば、Shall we do something? という形に対して Why
not? と答えるような場合なら自然な感じですが、ここでは使えないでしょう。

★ 「宿をどこかに取っておこうか」は「どこかに部屋を予約しておこうか」ということであ
るから Shall I reserve [book] a room somewhere? か Shall I reserve [book] you a room
somewhere [a room somewhere for you]? でしょう。

■ 「いいえ、いいの。(8807)

★ 「いいえ、いいの」は "No, thank you." でも決して間違ひではありませんが、断る理由を
次に説明するわけなので、日本語に近い No, it's OK [all right]. がいいでしょう。それから、
前の Shall I …? に対して No, you shan't [won't]. という答え方は現在では使いません。

■最終の汽車で青木湖まで行って、そこでボブの友人たちと落ち合いますから。 (8807)

★「最終の汽車で」は by the last train でも on the last train でもかまいません。また、take the last train to ~と書くことも出来ます。

★「青木湖まで行って」は「青木湖まで行くことになっていて」で「動作今以後」ですから We're going to Lake Aoki by [on] the last train.とか We're taking the last train to Lake Aoki.とかです。

★「ボブの友人たち」は「ボブの友達のうちの何人か」なら a friend of Bob's (何人かいるボブの友達のうちの一人) の複数形 some friends of Bob's (何人かいるボブの友達のうちの何人か) です。Bob's friends は Bob's friend (一人しかいないボブの友達・今話題にしている(あなたも知っている)ボブの友達) の複数形です。

◆some friends of Bob とは言えない

some friends of Bob's の of Bob's は among Bob's friends の意味です。それに対して、たとえば、He's a friend of the poor [the helpless].は friend の意味合いがかなり active になります。また、He's a friend of the Prime Minister.と言うと、He も the Prime Minister も自分とはまったく関係の無い、つまり、まったく客観的に述べていることになります。この「アポストロフィ + s」が付く場合と付かない場合の違いは非常に難しいので、よほど自分とは離れた客観的な事実として述べる場合以外は~'sとした方がいいと思います。

★「～と落ち合う」は meet up with ~です。なお、ボブの友人たちが先にそこに行っている場合なら join も使えます。

★「私たちはそこで～と落ち合う」は「私たちはそこで～と落ち合うことになっている」でこれも「動作今以後」ですから We're meeting up with ~ there.です。

● [て] (動作順次)

「～まで行つ [て], ・・・」は「動作順次」ですから and です。

■明日一日滑って明後日帰ることにしているから」 (8807)

★「明日一日」は all day tomorrow でしょう。

★「滑る」は ski です。

★「明後日」は the day after tomorrow ですが、tomorrow を繰り返さないで the day after がいいです。

★「帰る」は明日香が自宅から電話しているなら come back [home]ですが、もう家を離れているなら go back [home]です。

★「帰ることにしている」は「計画今以後」ですから We're going to go [come] back the day after (tomorrow).です。

◆be doing (動作今以後) と be going to do (=intend to do) (計画今以後) について

「いいえ、いいの。最終の汽車で青木湖まで行って、そこでボブの友人たちと落ち合いますから。明日一日滑って明後日帰ることにしているから」はいずれも「今以後」のことを述べているのですが、「～まで行って、～と落ち合う」は「心が動いている・実際に動作に入

っている動作以後」という感じであるのに対して「・・・することにしている」は「まだ心も動作も動いていない計画今以後」の感じがします。この感覚は微妙なのですが、たとえば、すでに動きが始まっている I'm having a party this evening.（動作に入っている動作今以後）と、決まっているけどまだ動きがない I'm going to have a party this evening.（計画今以後）の違いと同じです。それで、「青木湖まで行くことになっている」は「動作今以後」ですから We're going to Lake Aoki by [on] the last train.とか We're taking the last train to Lake Aoki.で、次の「私たちはそこでボブの友人たちと落ち合うことになっている」も (we're) meeting up with some friends of Bob's [Bob's friends] there ですが、「帰ることにしている」は「計画今以後」として We're going to go [come] back the day after (tomorrow).がいいと思います。

■ 「じゃ、よかつたら夕食までに来なさい。(8807)

★ 「じゃ」は「それでは」ですから Well then ぐらいです。

★ 「よかつたら」は、ここでは「もし都合がついたら・迷惑でなかたら」ということでしようから Why don't you [How would it be if you]…?を使えばいいでしょう。If it's all right for you, …とか If it's no trouble, …でもいいし、あるいは、簡単に If you can なども使うことが出来ます。ただ、if you like は「したいなら・・・してよろしい・お望みなら・・・してあげよう」という話者の強い立場から言う表現ですからここでは使えないでしょう。

★ 「夕食までに来なさい」は Why not be here by dinner-time?とか、Why don't you [How would it be if you] get here by dinner-time?です。なお、get here には be here よりちょっと努力を伴う感じで「こちらに着くようにする」といったニュアンスになります。なお、come here は英語としてちょっと不自然です。

■ 夕食と一緒にたべよう」(8807)

★ 「夕食と一緒にたべよう」は、文脈から「(そうすれば) 夕食と一緒にたべることができる」ということでしょうから We can have dinner together.でしょう。Let's have dinner together.は日本語の訳としても文法的にも完璧なのですが、前の be here…からの続きからみると英語としてはちょっとおかしくなります。ここは Let's…ではなく We can…とした方が自然です。つまり、「(・・・しなさい) そうすれば・・・できる」ということになるわけです。